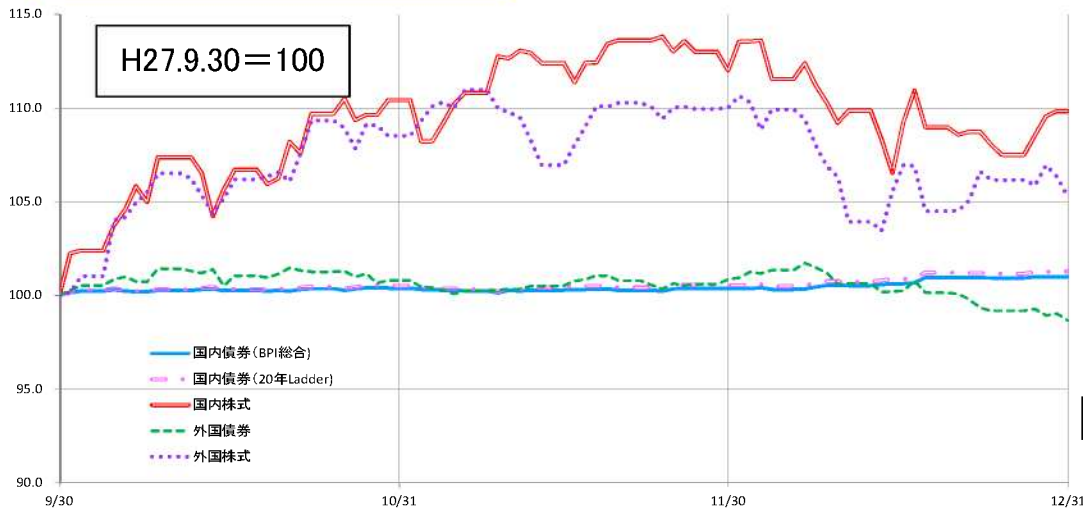


# 平成27年度第3四半期運用環境

ベンチマークとは、運用成果を評価する際に、相対比較の対象となる基準指標のことをいい、市場の動きを代表する指数を使用しています。  
ベンチマーク収益率とは、取引に係る売買手数料等の取引コストを除き、理論的に算出された市場平均収益率のことです。

## 1. ベンチマーク収益率の推移



資産区分	ベンチマーク	収益率(通期)		
		10月末	11月末	12月末
国内債券	NOMURA-BPI総合	+0.39%	+0.37%	+1.00%
国内株式	TOPIX(配当込)	+10.42%	+11.99%	+9.83%
外国債券	シティ世界国債	+0.79%	+0.84%	△1.35%
外国株式	MSCI ACWI ex JAPAN(配当込)	+8.51%	+10.00%	+5.25%
合計		+4.99%	+5.75%	+3.92%

※合計は資産構成割合が全て基本ポートフォリオの中心値である場合のベンチマーク収益率

(参考)

国内債券	NOMURA 20年ラダー	+0.51%	+0.54%	+1.28%
------	---------------	--------	--------	--------

## 2. 主な出来事

- ①10/22 ECB(欧州中央銀行)が12月追加緩和実施を示唆
- ②10/23 中国人民銀行が金融緩和策を実施
- ③10/28 FOMC(米国連邦公開市場委員会)で12月の利上げ示唆
- ④11/6 米雇用統計発表(予想+18.5万人、結果+27.1万人)
- ⑤12/3 ECB追加金融緩和策決定
- ⑥12/4 米雇用統計発表(予想+20.0万人、結果+21.1万人)
- ⑦12/4 OPEC総会で原油生産量据え置きを決定
- ⑧12/16 米FOMCが利上げを発表
- ⑨12/18 米国産原油の輸出を40年ぶりに解禁
- ⑩12/18 日銀金融緩和補完措置導入

## 3. 主な市場動向

※ 各経済指標の推移については次ページ参照

### 【国内債券】(10年国債利回り)

米長期金利上昇の影響があったものの、安定的な日銀の買い入れオペにより低下した。

### 【外国債券】(10年国債利回り)

米 ④、⑥などの良好な経済指標に起因する利上げ観測の影響により上昇した。  
独 米長期金利上昇の影響があったものの、⑤によりほぼ横ばいとなった。

### 【国内株式】(TOPIX)

⑦、⑨、⑩により12月は下落したが、④、⑥、⑧により上昇した。

### 【外国株式】(S&P500、独DAX)

米 ⑦、⑨による原油安の影響があったものの、9月の中国株安の反動等により上昇した。  
独 ⑤、⑦、⑨の影響があったものの、米株高の影響により上昇した。

### 【為替】

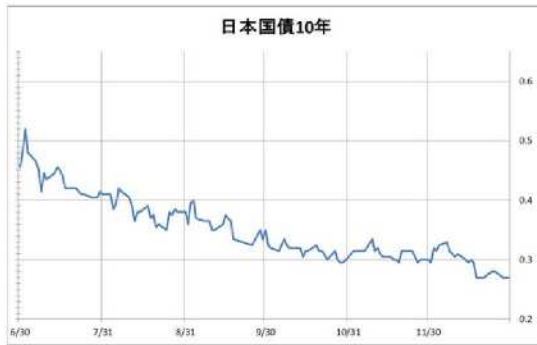
ドル/円はほぼ横ばい、ユーロ/円は経済指標が軟調であった結果、円高ユーロ安。

# 主な経済指標の推移(直近6カ月間)

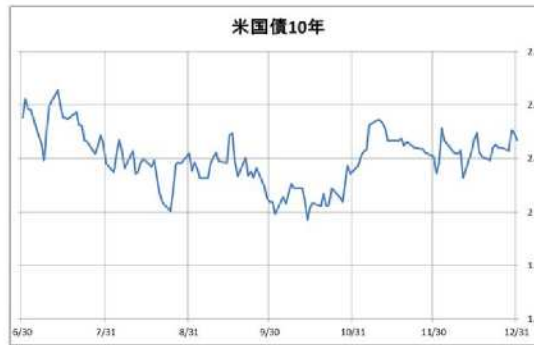
(出典: bloomberg)

## 10年国債の利回りの推移(日、米、独)

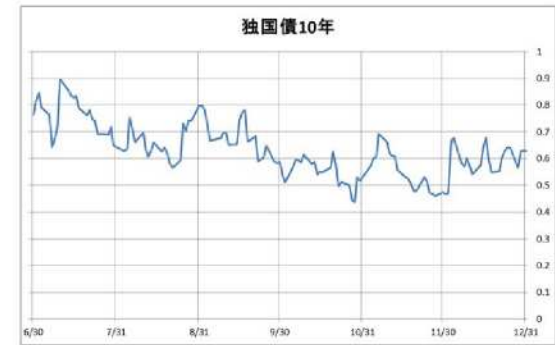
9月末 0.35 → 12月末 0.27



9月末 2.038 → 12月末 2.27



9月末 0.587 → 12月末 0.629

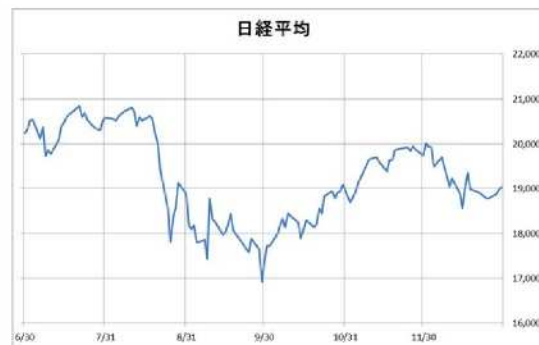


## 国内株式の経済指標の推移

9月末 1411 → 12月末 1547



9月末 17388 → 12月末 19034

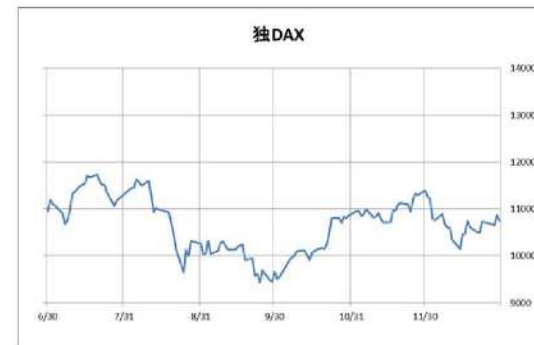


## 外国株式の経済指標の推移

9月末 1920 → 12月末 2044

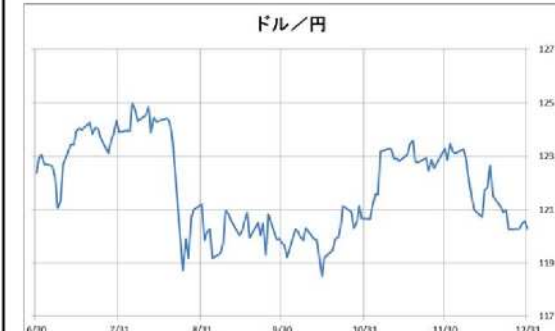


9月末 9660 → 12月末 10743



## 為替レートの推移

9月末 119.8 → 12月末 120.3



9月末 133.7 → 12月末 130.7

